

『つながるシェア田』

お田植祭2025

6月22日、菅地区で東京・つながるキッチン（代表・中原麻衣子さん）による『つながるシェア田』お田植祭2025が開催されました！

本イベントは今年で6回目を迎え、元メジャーリーガー岡島秀樹さんをはじめ、首都圏を中心に本取組のオーナー約30人が参加しました。

大人も子どもも泥だらけになりながら稲苗を手作業で植える。そんな都市部では中々できない体験をみなさん楽しまれていました。

田植え終了後には生産者の方より炊き立ての有機米、手料理が振舞われ、終始賑やかな雰囲気でした。山都町の生産者代表の松川陽一さんは「早いものでつながるシェア田の取組が10周年を迎え、都市と中山間地域が食だけでなく、とても大切なつ

ながりを持てたこと、とても感謝しています。今後は山都町全体とつなぐを創っていききたいです。」と思いを語られました。

『つながるシェア田とは？』

『つながるシェア田』とは2015年にスタートした里山の新たな取組であり、今年で10周年を迎えた棚田保全活動。

『つながるシェア田』の最大のコンセプトは「愛をシェアする」であり、町のシンボル「通潤橋」の周辺に広がる棚田風景を未来に繋ぐことを目的としています。

6月21日には、つながるキッチン協力の元、岡島秀樹さんによる野球教室を開催し、地元野球少年（矢部ビクトリーズ・山都ウィングスジュニア）が参加しました。

当日は晴天にも恵まれ、絶好の野球日和となり、岡島さんはプロならではのテクニクや心構えを参加した子ども一人ひとりに丁寧に指導されていました。

① 山都ウィングスジュニア(左) 岡島秀樹さん(中央) 矢部ビクトリーズ(右)

② 子どもたちに指導する様子



今月の表紙

今月の表紙にはツツジに止まったミツバチを撮った1枚です。下馬尾周辺を歩いている際にツツジを見つけ、写真を撮ろうと構えた瞬間にミツバチが花の蜜を集めにやってきました。見つけたのは写真の1匹のみでしたが、働きバチが一生で集めるはちみつのは最大でどのくらいでしょうか？

実は働きバチが一生で集めるはちみつのは「ティースプーン1杯（約5ml）」といわれており、ハチミツ1瓶に必要なミツバチの数は約280匹とも言われています。その貴重さはまさにミツバチの努力の結晶と言えますそうです。



町公式ホームページ

阿蘇山麓のまち



最新情報は町公式ホームページをご覧ください。

町の情報発信



公式ライン



防災アプリ
「ライフビジョン」



Android用



iPhone用



公式Instagram

「#my_yamato」のハッシュタグで山都町の写真・動画を投稿してください。一緒に山都町の魅力を発信していきましょう！

人のうごき

総人口	12,631人（－20）
男	6,130人（－8）
女	6,501人（－12）
世帯	6,216戸（－0）
※（ ）は前月比	
令和7年6月 出生者	1人
死亡者	26人
最高齢	106歳〔女性1名〕
（令和7年6月30日現在）	

【お詫びと訂正】

広報やまと6月号の掲載内容に一部誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

P21通潤間法句会 （正）木立なる声ぞ （誤）木立なる声で
（正）京の上臈 （誤）今日の上臈

目次

- 2 目次
- 3 お田植祭2025
- 4 新茶まつり（in パスレル）
- 6 やまとの話題
- 8 まちからのお知らせ
- 13 Yamato Infomation
- 14 福祉だより／保健だより／やまと文化の森だより／山の都移住すまいるセンター通信／わたしたちの人権／SDGs未来都市山都町／矢部高校だより／図書館だより／山都警察署・協議会だより／寄附のお礼（山都町社会福祉協議会）／町長のまちづくり日記／編集後記
- 24 イベントカレンダー／だっこ